



学校自慢

4年連続優勝ねらう体操部

…吉原第3中学校…



吉原第3中学校の自慢といえば、なんといつてもスポーツだ。昨年は、中体連富士地区で総合優勝をしたんだから、自慢したくなるのも当然かな。とくに、中体連県大会でベスト8をめざすサッカー部と、4年連続優勝をねらう体操部は、わが校の花形だ。モウレツな練習ぶりを放課後のグラウンドに、体育館にひと目見れば誰でも納得できるだろう。

サッカー部員は現在30名。3度の食事よりサッカーが好きなんだ、なんて言いながら、放課後のグラウンドに飛び出して行く姿は、本当にたのもしい。今年春の県大会で藤

枝市立大州中学校を破り、県大会ベスト8の目標に一步近づいたイレブンは、毎日、汗とほこりにまみれて練習している。

サッカーと並ぶ、もうひとつの3中自慢は体操部。「体操は美を追求するスポーツだ」という。昨年の主将、杉山先輩のことばに、部員は安心して見ていられる技を美の第1条件に、練習、また練習の毎日。試合よりも練習。こんな努力が今年目標、4年連続優勝をきつと達成するにちがいない。「全力をつくして練習し、全力をつくした試合で敗れることはぼくたちのためにも、後輩のためにも意義があると思つている。」そんな言葉にも自信と余裕が感じられる体操部。今年も花形の座はゆずりそうにない。



今泉小に内藤文庫

…百科辞典など148冊…

よい子たちにもりもり勉強してほしいと、緑ヶ丘の内藤らくおばさんから、今泉小に日本や世界の美術、大百科辞典など148冊の本と図書室の机やイスが贈られました。今泉小では内藤さんの名を取つて「内藤文庫」と名づけ、図書室に置きました。

今泉小の子どもたちは、立派な本がそろつた図書室で、おばあさんの期待にこたえようと贈つてくれた本を参考に、いつしようけんめい勉強しています。

ところが、おばあさんは、子どもたちが元気に勉強するところをみることなく、さきごろなくなりました。



わたしたちのまち



吉永第1小学校
6年
薬科みどり

「1・2・3・4・5…」3階のまどから工場のえんとつをかぞえてみた。吉永は

昔から製紙業の盛んなところで、たくさんの工場がある。そのために、人びとの健康を害するものがでてきた。でも、その工場のおかげで交通は便利になった。

だけど、交通事故がふえて私たちにとって、とても心配な問題になった。町のまん中を東西に県道がとおっている。それにこの町は県道にそつて東西に長く、むかでの背すじのようになっている。新しい家や工場は南や北へどんどん広がつていく。そのため町のはしからはしまで南北に道が県道を横ぎつて、交差点が多

い。学校で勉強していても1日に何回も自動車の急ブレーキの音が聞こえてギクツとする。救急車のピポピポという音が流れていく。昨年も学校の前で三年生の男の子が道を横ぎろうとして車にはねられた。

これからも交通がふえ、事故もふえていくだろう。だから生徒の登校する、特別な道をつくつてもらいたいなあ。

私たちが生まれ成長していく土地だ。住みよくするためにみんなのちえをだし合つて、私たちの吉永にしたい。

